

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	愛名やまゆり園		
所在地	厚木市愛名 1 0 0 0		
サイトURL	http://www.kyoudoukai.jp/		
根拠条例	神奈川県立の障害者支援施設に関する条例		
設置目的(設置時期)	障害者総合支援法第5条11項に規定する障害者支援施設		
指定管理者名	社会福祉法人かながわ共同会		
指定期間	H18. 4. 1～H28. 3. 31	施設所管課	障害サービス課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p><管理運営等の状況> 利用者の加齢に伴う身体機能の低下に伴い、医療的ケアの必要な利用者が増加している。診療所との連携を強化し、喀痰吸引実地研修にも積極的に取り組んでいる。施設運営の特色でもある重度重複障害者支援では利用者の特性に応じた日中活動のプログラムを編成し、日中活動の充実を図っている。</p> <p><利用状況> 短期入所（定員20名）を積極的に受け入れ、稼働率は77%であった。施設入所利用者の障害支援区分の平均は5.5と重度障害者を受け入れている。</p> <p><利用者の満足度> オンブズマン相談会（月1回）を実施し、利用者、家族からの要望、苦情相談に応じている。</p> <p><収支状況> 収支のバランスは良好である。</p> <p><苦情・要望等> 苦情解決受付担当者及び責任者の任命、第3者委員の委託、地域オンブズマンネットワークの加盟などに取り組んでいる。利用者家族からの各種要望にも適切に対応できている。</p> <p><事故・不祥事等> リスクマネジメント委員会が中心となり、事故防止に取り組んでいる。事故発生後、事故の検証、対応策、業務改善策等について取り組まれている。</p> <p><今後の方針等> 強度行動障害や重度重複障害等の支援が困難な利用者の受け入れを期待したい。また、地域生活移行も積極的に進め、加齢児の受け入れ施設としての役割も担ってみたい。</p>
S：極めて良好な管理運営状況 A：良好な管理運営状況 B：一部改善が必要な管理運営状況 C：抜本的な改善が必要	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
随時モニタリング指導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
計画相談支援がすべての利用者に行われるよう、愛名やまゆり園相談支援事業所を中心に取組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村によって取り組み方に相違があるが、適宜対応できるように国より示された共通様式を活用し、サービス等利用計画の作成等の準備を進めた。 ・市町村から依頼のあった計画相談については全て作成した。 	相談従事者のスキルアップ研修の参加も加えて、概ね計画通り取組むことができた。
自閉症、重度重複等多様な障害特性に応じた日中活動のプログラムを編成し支援の充実を図ります。	クラブ活動の活性化、自主製品の取組みにより日中活動の充実を図った。	日中ワーキンググループを活用し、概ね計画通り取組むことができた。
ファシリティマネジメント(経営面から見た維持管理)の概念に基づき、計画的な備品等の更新を実施します。	当初予算で計上した備品、物品等については全て執行している。	概ね計画通りに取組むことができた。
「障害者の権利に関する条約」の批准に伴い、改めて支援体制にかかる合理的配慮等への再検証に取り組めます。	権利擁護については全園的に取組むが、合理的配慮等の再検証までは至らなかった。	今後も継続して取組む。
愛川町受託事業の堅実な運営と、指定管理施設の先駆的な役割として展開する自主事業の安定的運営拡大を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・愛川町と協議しながら事業拡大に取り組んだ。 ・日中一時支援事業を放課後等デイサービスに変更し収入が増え、経営が安定した。 	市町村との連携を取りつつ、概ね計画通りに取組むことができた。

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	《評価の目安》目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	[参考] 直営/管理委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	34,740	33,830	35,105	35,286
対前年度比			103.8%	100.5%
目標値	[目標値設定根拠]			
目標達成率				

[参考：最大利用可能人数]

	施設入所	生活介護	短期入所			合計
定員	100	130	20			
年間利用可能日数	365	365	365			
最大人数※1	36,500	47,450	7,300	0	0	91,250
稼働率	%	%	%	%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
—	※重度の知的障害のため、4段階評価による満足度の評価は困難である。

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	利用者自治会の定期的開催	利用者自治会とオンブズマンによる相談会を開催し、利用者、家族の要望、苦情相談に応じている。

実施した調査の配付方法 _____ 回収数/配付数 _____ / _____ = _____

配付(サンプル)対象

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数						
回答率						
前年度の回答数						
回答率の対前年度比						

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマ イナスが生じている)：85%未満
A	

〔 指定管理業務 〕

(単位:千円)

	〔参考〕 直営／管理委託 ／指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
〔参考〕年度計画	828,986	989,021	946,719	997,613	その他収入は、「経常経費寄附金収入」、「雑収入」、「固定資産売却収入」等
指定管理料	430,292	329,323	329,910	333,583	
利用料	401,594	602,234	633,506	680,918	
その他収入	2,417	12,790	227,160	11,658	
合計	834,303	944,347	1,190,576	1,026,159	
対前年度比		113.2%	126.1%	86.2%	
対 計画比	100.6%	95.5%	125.8%	102.9%	
(2) 支出					
〔参考〕年度計画	821,780	961,045	920,212	937,913	
支出額	815,581	890,109	1,334,032	982,618	
(内 納付金)	0	0	0	0	
対前年度比		109.1%	149.9%	73.7%	
対 計画比	99.2%	92.6%	145.0%	104.8%	
(3) 収支					
〔参考〕年度計画	7,206	27,976	26,507	59,700	
収支差額	18,722	54,238	-143,456	43,541	
対前年度比		289.7%	-	-	
収入合計／支出合計の比率	102.3%	106.1%	89.2%	104.4%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所管繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
平成26年6月	270	火災通報装置交換(270千円)
平成26年9月	411	スプリンクラー用自家発電機オーバーホール(411千円)
平成26年10月	918	地域サービス棟バルコニー手すり塗装(918千円)
平成27年2月	1,836	ハロン消火設備交換(1,836千円)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： _____ 円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内 容(金額)
収 入		
支 出	2,226	公用車購入
積 立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応	口頭	4 件	通所で怪我をした際、通院を最初から家族任せにしており、通院同行の申出がなかった	不快な思いをさせてしまったことを謝罪した。園内で発生した受傷については園で対応することを改めて統一した。
		件		
事業内容	口頭	2 件	退所時、日中活動用のリュックサックの返却し忘れがあった	謝罪し、リュックサックを返却した。
	電話	2 件		
その他	口頭	2 件	グラウンドのボールの金具が風でカタカタ鳴っているの、対応してほしい	すぐにグラウンドに行き現状を確認した。ボールに金具が当たらないようにロープを別の箇所に結ぶ。
	電話	1 件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等)
			②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
4月21日	短期入所利用者の薬を他の短期入所利用者に与薬してしまう。	服薬の際のチェックが徹底されていない。	①服薬するところまで二人の職員で確認をする。食事支援中の業務分担を見直し、落ち着いて服薬ができる環境を整える。顔と名前を一致させるために、短期利用者の顔写真を薬のボックスに利用の度に付ける。
12月25日	管理棟2階から1階に移動中、階段を降りようとした際に階段を踏み外し転倒。うつぶせの状態です頭部を打つ。救急車で搬送。左頭部骨折。	1名の職員で2名の利用者を誘導していた。共に移動については見守りが必要であった。	①マンツーマンで階段を降りる支援が必要な人は、その体制が取れない場合は、エレベーターでの移動をすると周知徹底する。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。